

和歌山の逸品!



ほうとうこくし
金山寺みそと法燈国師 (禅僧覚心)

鎌倉時代、現在の和歌山県日高郡由良町にある興国寺(西方寺)の禅僧、法燈国師(禅僧覚心)が、宋の径山興聖寺で習い覚えた製法を持ち帰ったのが始まり。「食べるみそ」として米、白目大豆、裸麦(丸麦)、白瓜、丸茄子、生姜などを原料にしています。

わかやま 県議会 だより

9月定例会号

No.34 平成28年[2016]
11月23日発行(年4回発行)

主な記事

2~3面 平成28年9月定例会の概要
4面 議会活動
県議会からのお知らせ

常任委員会活動レポート

6つの常任委員会のうち、今回3つの委員会の活動を紹介します!



和歌山ジャンクション(仮称)の建設現場

建設委員会

建設委員会では、8月2日から3日にかけて県内調査を行いました。
今回、道路の調査では、平成28年度に供用開始予定の京奈和自動車道紀北西道路と阪和自動車道をつなぐ和歌山ジャンクション(仮称)整備の進捗状況、県道田辺龍神線の秋津川大橋の耐震化工事状況、新宮市と北山村を結ぶ奥瀬道路の整備状況、東牟婁振興局申本建設部の新庁舎建築について現地において調査を行いました。また、県内で甚大な被害が発生した平成23年の紀伊半島大水害を契機に、土砂災害に関する研究・啓発の拠点施設として、本年4月に設置された県土砂災害啓発センターを訪問しました。
委員会としては、今後も、県当局とともに、地域の活性化と発展を図る道路ネットワーク等の社会資本整備、県民の生命と財産を守るための防災減災対策等を推進し、安全で豊かな県土づくりに取り組んでいきます。



建設中の県消防学校屋内訓練場

総務委員会

総務委員会では、10月3日、和歌山市のコスモパーク加太に移転整備中の県消防学校新校舎を訪問しました。
老朽化して手狭な現校舎では必要な訓練の実施が困難であることから移転整備を行っているとの概要説明を受け、その後、施設の整備状況を視察しました。新しい施設では、大規模災害対応の訓練や高層の建築物での火災を想定した訓練などが可能となっており、また、女性消防職員の受入にも対応できる施設となっています。
近い将来、南海トラフを震源とする地震の発生が懸念されるとともに、最近の異常気象でゲリラ豪雨が頻繁に発生していることから、県民の命と財産を守るために、より良い訓練施設となるよう整備を進め、優秀な消防職員を輩出いただくよう要望しました。

福祉環境委員会

福祉環境委員会では、県内調査のため10月3日に和歌山大学と和歌山市のぶらくり丁にあるNPO紀州お祭りプロジェクトを訪問しました。
和歌山大学では教育学部の本山貢教授から「わかやまシニアエクササイズ」など介護予防のための運動プログラムの取り組みについてお話を伺いました。今後、高齢化の進行が予想される本県で、健康寿命を伸ばすことの重要性を再認識しました。
また、NPO紀州お祭りプロジェクトでは代表の西平都紀子会長や上森成人副会長、内田嘉高副会長からお話を伺いました。「紀州よきこい祭り」により地元を元気にしている取り組みについて説明いただき、意見交換を行いました。
委員会としては、和歌山県民が健康で活気のある生活を送れるよう施策を検討し、今後も各方面と協力しながら取り組んでいきます。



NPO紀州お祭りプロジェクトを訪問



和歌山大学教育学部本山貢教授を訪問

9月定例会の概要

9月8日～28日までの21日間

一般質問議員 15人

9月15日(木)	9月16日(金)	9月20日(火)	9月21日(水)
岸本 健 奥村 規子 鈴木 太雄	秋月 史成 多田 純一 松坂 英樹 谷口 和樹	浦口 高典 森 礼子 岩田 弘彦 立谷 誠一	中村 裕一 藤本眞利子 片桐 章浩 吉井 和視

会期中の主な動き

- 特別委員会の開催
 - 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会 (9/20)
 - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 (9/27)
- 特別委員会の設置
 - 決算特別委員会を設置し、委員を選任 (9/28)

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件 (知事提出)	2件	平成28年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件 (//)	9件	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 等	
決算案件 (//)	2件	平成27年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	継続審査
人事案件 (//)	9件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めらるるについて 等	同意
その他案件 (//)	12件	平成28年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
意見書	13件	和歌山県の社会資本整備に必要な予算の確保等を求める意見書 かつお来遊資源の確保のための措置を求める意見書 チーム学校推進法の早期制定を求める意見書 返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書 無年金者対策の推進を求める意見書 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書 「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書 有害鳥獣対策の推進を求める意見書 緊急防災・減災事業債の継続を求める意見書 地籍調査の充実を求める意見書 北朝鮮による日本人拉致問題の早急な解決を求める意見書 北朝鮮の核実験・ミサイル発射に対し、厳重に抗議し断固たる措置を求める意見書 民泊に対する地域の状況に応じて運用できる法制化を求める意見書	可決

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

政策

政府関係機関の地方移転

問 総務省統計局と独立行政法人統計センターの本県への一部移転が決定されたが、移転による効果と地方創生実現のためどのような取組を行っていくのか。

答 統計データの活用業務は、今後大きく伸びる可能性を秘めた分野です。本県の産学官に大きな波及効果がもたらされ、関西圏をはじめ幅広い地域から多くの研

田辺・西牟婁地方の地域再生

究者が集い、本県の活性化につながるものと期待されています。県ではデータ活用推進プランを策定し、それに基づいて設置するデータ活用推進センターを拠点に、シンポジウムの開催や企業向けセミナーの実施など、さまざまな施策を展開し、日本のデータ活用拠点を目指してまいります。

問 本県は若者流出人口が多い県であるため、全国から若者が「可能性を求めて集う」仕組みをつくる必要がある。特に田辺・西

牟婁地方における仕組みづくりをどのように考えているのか。

答 積極的な企業誘致活動を推進するとともに、県内企業の新陳代謝を促し、産業を活性化するための創業、第二創業の支援などに取り組んでいます。特に白浜町ではIT企業の立地が進み始めており、新しいライフスタイルに合った環境も整ってきています。企業誘致とともに、観光産業や農林水産業の振興により紀南地方に将来性のある魅力的な働く場を提供し、若者を呼び込み、定着する地域づくりに取り組んでまいります。

環境立県への取組

問 観光客が世界中から訪れ、県内の農水産物をぜひ食べてみたいと思うようすばらしい「自然環境日本一」の環境立県を目指すべきではないか。

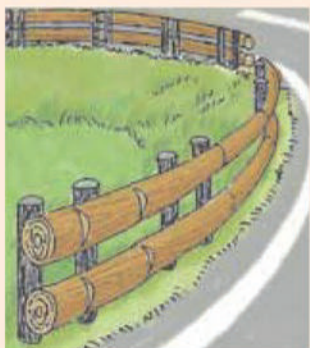
答 平成28年3月に今後5年間の環境行政の基本方針となる第4次和歌山県環境基本計画を策定し、安心・安全の確保を前提に各分野計画に基づく取組を進めています。「自然環境日本一」の環境立県を目指すべき」との気持ちに胸を、まずは全ての分野で「将来にわたり住みよい環境わかやま」の実現を目指し

農林

公共事業における木材利用の促進

ます。今後とも、県民の皆様や事業者、民間団体、市町村と相互に連携し、協力しながら取り組んでいきます。

問 公共事業での木材使用量が他の森林県と比較して少ない。コストや耐久性の問題もあるが、最終的には政治家としての判断になる。知事の意気込みを聞きたい。



答 秋葉山公園県民水泳場などで紀州材を構造材や内外装材として積極的に利用していますが、今後は、外装材や構造材としてどう使っていくかを積極的に検討しなければならぬと思います。公共事業における紀州材の利用拡大も、そういう方向で一層積極的に推進していくとともに、県内の市町村に対しても働きかけていきます。

道路



文里湾横断道路の整備

問 文里湾への架橋は、田辺市津波避難困難地域解消計画で津波から命を守るために必要であるとされ、取組を進めていく必要がある。知事はどう考えているのか。

答 田辺市の計画に位置づけられたことで、市が考える津波からの避難方法と文里湾架橋の矛盾がなくなりました。さらに、田辺市長からも「避難路、避難場所としても文里湾架橋が必要」と強く要望され、懸念は一切なくなりました。今後は、田辺市と連携し、関係機関との調整やルートの詳細な検討など、文里湾架橋の実現に向けて取組を進めていきます。

地域道路の整備

問 県道岩出海南線を利用する境原地域などの和歌山市東部地域に必要な道路整備をどう考えているのか。

答 現在、県では、境原地域を含む市の東部を通過する広域交通を処理するため、都市計画道路松島本渡線の整備を推進しています。一方、地域住民の方々が日常生活で利用される道路については、沿道利用の状況、整備効果の早期発現などの観点から、バイパス整備ではなく、現道の拡幅や線形改良といっ

た整備を基本としています。県道岩出海南線については、松島本渡線の整備により通過交通が排除される見込みがあり、また生活道路であることから、現道を活用した整備が有効と考えています。用地のご協力が前提となりますが、車両の円滑な対向、歩行者の安全確保などの観点から、特に狭隘な箇所での整備について検討していきます。

道路案内標識の追加設置

問 黒河道などが世界遺産に追加登録されることから、京奈和自動車道と周辺一般道路に道路案内標識を追加設置すべきではないか。

答 今年度内には、京奈和自動車道が阪和自動車道と西名阪自動車道に連結され、本県と近畿・中部圏を結ぶ高速ネットワークが完成することから、観光客の増加が予想されます。さらに黒河道などが世界遺産に追加登録される見込みであることを踏まえ、円滑かつ安全に誘導し、観光振興にもつながる道路案内標識の設置が実現できるよう、関係機関と調整していきます。

まちづくり

市堀川の浄化

問 市堀川は、しゅんせつにより水質も随分よく

なっているが、さらに水質がよくなることで人が集まり、人々のつながりも深まっていくと考えられる。今後さらに浄化を進める考えはないか。

答 市堀川のさらなる浄化には、河川等に流れ込む生活排水等の対策が有効と考えています。南海和歌山市駅前周辺は既に和歌山市において下水道整備が完了しており、引き続き接続率の向上が望まれます。市堀川の浄化を進める観点からも、今後とも和歌山市と連携し、下水道への接続率向上を図るべく啓発等を行っていきます。

交通

南紀白浜空港の利活用

問 南紀白浜空港は東京と1日3便、計6回の離発着しかない。県も日本航空も互いに努力はしているが、今一步利用者が満足する料金体系とはなっていない。競争原理を刺激するため他の航空会社への誘致活動はどうか。

答 県としては日本航空に対して新たな割引の導入による料金低減をさらに働きかけていくなどお願いしていきます。また他の航空会社の就航についても取り組んでいきます。



教育・文化

教職員の多忙化解消

問 教職員の多忙化が大きな社会問題となっているが、県教育委員会としては、その解消に向けてどう取り組んでいるのか。

答 研究指定校事業の削減や校務支援システムの導入など、多忙化の防止と解消に向けた対策を講じてきました。さらに、学校に対する調査やアンケートの精選、会議や研修会の簡素化・統合などに取り組むとともに、市町村や県立学校に対し、年度当初に勤務負担軽減の改善ポイントを示して指導を行ってき

リーフレットの配布やテレビなどを使った広報など様々な方法で、より多くの皆さんにその価値を知っていただけるよう取り組んでいきます。



くらし

県営住宅の保証人制度

問 障害者がアパート等の入居時に求められる保証人制度について、県が管理している県営住宅では、どのように対応しているのか。

答 県営住宅の入居時には、原則入居者の親族2名以上を連帯保証人としていますが、少子化等の社会状況の変化もあり、連帯保証人を確保することができない場合は、親族でない方を保証人と認めるなど、最大限の配慮をしています。なお、障害者福祉の観点から、どうしても保証人を確保できない場合は、今後検討していきます。

岩橋千塚古墳群出土品の活用

問 去る8月17日に大日山35号墳の出土品が国の重要文化財として指定された。今後の活用をどのようにしていくのか。

答 活用については、紀伊風土記の丘資料館においての特別展や、記念講演会及びセミナーを開催することとしていきます。また、指定された埴輪類については、常設展で展示するとともに解説

感震ブレイカーの普及

問 高齢者や障害者などの要配慮者の命を守るため、市町村が感震ブレイカー普及のための支援制度をつくることに対して、県として支

援をしてはどうか。

答 基本的に、感震ブレイカーの設置は個々の家庭で行う「自助」の問題であると考えています。しかし、わかやま防災力パワーアップ補助金では、個々の家庭の家具転倒防止について、高齢者等、災害時の避難に特に配慮を要する方に対して市町村が補助をする場合は交付対象にしていますので、感震ブレイカーの設置についても前向きに検討していきます。

健康・医療

有田保健医療圏の地域医療構想

問 このほど策定された地域医療構想では、有田圏域における高度急性期の医療需要と必要病床数がゼロとされているが、どんな議論がなされたのか。また、今後の医療提供体制はどのようなのか。

答 有田保健医療圏における地域医療構想の策定にあたっては、地域の医療関係者などで構成する圏域別検討会の開催を重ね、意見を反映させたところです。高度急性期医療は和歌山医療圏に依存するものの、急性期、回復期及び慢性期医療については、住み慣れた地域で適切な医療を受けることができる体制の構築を目指します。

Information
県議会からのお知らせ

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより(予定) 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送 (12月定例会の放送 12/2、9、12~14、20)

県議会手話だより(予定) 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送(12月定例会の放送 12/28)

ラジオ 和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト(予定) 開会、質問、閉会日の21時20分から15~30分間放送(12月定例会の放送 12/2、9、12~14、20)

県議会ホームページ

和歌山県議会

http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/

● 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。

● 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

平成28年12月定例会 会期日程(予定)

本会議	12月 2日(金)
本会議(質問)	12月 9日(金)・12日(月)・13日(火)・14日(水)
常任委員会	12月15日(木)・16日(金)
本会議	12月19日(月)・20日(火)

※手話通訳者・要約筆者をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込み下さい。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

「点字版、テープ・CD版」の案内

本紙の点字版、テープ・CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。

- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄附行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- あいさつ状の禁止
- 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- 中元や歳暮の贈答はしない
- お祝い・おみやみやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)



「紀伊半島地域における若者の移住・定住の促進」・「大規模災害対策」・「観光振興」の3議題について、各県から議題の提案趣旨説明や取組事例等の紹介が行われた後、三県の議員27名による活発な議論が行われました。会議では、若者の移住・定住の促進として三県で実施している首都圏での移住プロモーションを継続していくことや、大規模災害対策として三県の相互応援体制をさらに連携強化していくことなどを確認するとともに、観光振興として外国人観光客の受入環境整備推進のための支援充実を国に要望していくことについて合意しました。

議会活動の紹介
Topics

第10回紀伊半島三県議会交流会議

7月29日、和歌山・三重・奈良の三県の県議会議員が共通課題等について意見交換を行う「第10回紀伊半島三県議会交流会議」が奈良県明日香村で開催され、本県からは浅井修一郎議長をはじめ10名の議員が参加しました。



近畿6府県議員交流フォーラム



8月24日、近畿6府県の議員が地方議会や近畿圏の共通課題などについて、一堂に会して意見交換を行う「第13回近畿6府県議員交流フォーラム」が大府議会において開催されました。参加者は総勢57名、本県からは浅井修一郎議長をはじめ10名の議員が参加しました。

午前の全体会議終了後、各議員が4つの分科会に分かれ、人羅格毎日新聞論説委員(議会分科会)、新川達郎同志社大学大学院教授(地方自治分科会)、溝畑宏大阪観光局理事長(観光分科会)、河田恵昭関西大学社会安全研究所センター長(防災分科会)のコーディネートのもと、活発な意見交換が行われました。

関西広域連合議会8月定例会



「関西広域連合議会8月定例会」が、8月29日に京都府議会で開催され、本県議会からは、山田正彦議員、尾崎太郎議員、立谷誠一議員、岩井弘次議員の4名が出席しました。

本会議においては、尾崎太郎議員が一般質問において、「統合型リゾート(IR)」について質問し、「増え続ける訪日客の受入や人手不足が問題となっていることから、当初カジノ合法化の理由とされた観光客の誘致や雇用増加は色褪せつつある。しかし、東京など大都市への資本の集中が問題となっている現在、カジノが合法化されるとすれば、和歌山のような地方においてこそ、その価値があると考えるが、広域連合としてカジノを含む統合型リゾートについてどのように考えるのか、各府県の誘致活動をバックアップする考えはあるのか、ギャンブル依存症についてどのように考えているのか」とたずねました。

本質問に対し、担当委員である山田啓二委員(京都府知事)から、「広域連合では、統合型リゾートについては研究会を設けて検討し、肯定的な様々な意見があるため、国の動向も見据えながら引き続き議論の素地となる研究を行っていく必要がある」との結論となった。また、統合型リゾートは、地域戦略とは切り離せないことから、地域の戦略をもとに国家的見地からその可能性の議論を踏まえ、どういったサポートができるかを見ていかなければならない。そして、ギャンブル依存症については、統合型リゾートが具体化するのであれば、ギャンブルへのアクセスの問題やトータル治療方法をひとつの問題として国に対して訴えていかなければならない」との答弁がありました。

近畿2府8県議会議長会議



8月31日、和歌山・京都・大阪・兵庫・奈良・滋賀・三重・福井・徳島・鳥取の2府8県の県議会議長・副議長が円滑な議会運営と地方行政の推進について情報交換を行う「近畿2府8県議会議長会議」が兵庫県淡路市で開催され、本県からは浅井修一郎議長が出席しました。

会議には計17本の議案の提出があり、本県からは、高速道路のミッシングリンク解消、津波浸水対策としての河川・海岸堤防、港湾・漁港施設の強化などに必要な予算の確保を国に対し強く求める「社会資本整備に必要な予算の確保等」を議案として提出しました。

今回は、その中から「国民一人ひとりが活躍できる社会の実現」をテーマに意見交換が行われ、それらの議案について開催県である兵庫県が代表して国に対し要望活動を行うことが決定されました。